

片道 5,990 円から毎日 1 往復
ジェットスター・ジャパン、定期運航便として初の成田＝宮崎線を就航

～地方路線で初となる成田＝宮崎線の貨物事業も同時に開始～

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:片岡優)は、本日、国内 12 都市目となる宮崎と東京(成田)を 1 日 1 往復で結ぶ新規路線を開設しました。東京(成田)＝宮崎線の定期運航便は初となります。

宮崎行きの初便 GK633 便は 165 人(+幼児 6 人)のお客様を乗せ成田国際空港を午前 11 時 42 分に出発し、宮崎ブーゲンビリア空港に午後 1 時 41 分に到着しました。また、宮崎発の初便 GK634 便には 168 人(+幼児 2 人)のお客様が搭乗し、午後 2 時 27 分に出発しました。

このたびの就航で、ジェットスター・ジャパンの国内線は LCC として最多の 17 路線となり、成田国際空港を発着する国内線としては 10 路線目となります。年間を通じて温暖な気候で南国情緒豊かな宮崎は、ご当地グルメやフルーツに加え、マリンスポーツや野球・J リーグなどのキャンプ地としても人気があるほか、観光客を魅了し続ける神社仏閣・パワースポットや自然が作り出した秘境も各地に点在しています。本就航により宮崎旅行のみならず、ジェットスター・ジャパンがすでに就航している九州 4 都市を利用した周遊旅行の選択肢もさらに広がります。

また、ジェットスター・ジャパンは、現在東京(成田)・大阪(関西)・名古屋(中部)を発着する国内幹線 10 路線で貨物事業を行っていますが、宮崎県産のきゅうり、ピーマン、サツマイモなどの青果物や宮崎県ブランドの魚介類に加え、切花や宅配便の輸送需要の増加を受けて、このたび地方路線で初となる成田＝宮崎線における貨物の取り扱いを開始しました。LCC として国内最多路線・最多便数による運航を最大限生かし、今後貨物路線網もさらに拡充していきます。

ジェットスター・ジャパン代表取締役社長の片岡優は、「関係各署皆様のご尽力により、本日、成田＝宮崎線を無事就航することができましたことに、心より御礼申し上げます。世界 110 都市を結んでいる成田国際空港への直行便が就航することで、宮崎県民の方々にとって海外渡航がより便利で身近になると同時に、旺盛な訪日需要による海外からのインバウンドや首都圏からの観光客の増加も期待されます。旅行・帰省需要のみならず、このたび開始した貨物事業においても首都圏と宮崎県の架け橋となれるよう努力する所存です」と述べました。

日本の LCC として国内線最大シェアを擁するジェットスター・ジャパン(注)は、今後も東京・大阪・名古屋の日本 3 大都市をハブとして路線網のさらなる充実を図り、いつでも低運賃で快適な空の旅を提供してまいります。

(ご参考)

■東京(成田)＝宮崎線運航スケジュール(2017年12月21日～2018年3月24日)

路線	便名	出発時刻	到着時刻	フライト時間
成田→宮崎	GK633	11:30	13:40	2時間10分
宮崎→成田	GK634	14:20*	16:00*	1時間40分

*木曜日は14:15→15:55で運航

■片道運賃(エコノミーStarterクラス)

5,990円～(税込)

■貨物事業展開路線 全11路線

- 成田5路線:新千歳・関西・福岡・那覇・宮崎
- 関西4路線:成田・新千歳・福岡・那覇
- 中部3路線:新千歳・福岡・那覇

(注)出展:国土交通省「航空輸送サービスに係る情報公開(平成29年度第1回)」(平成29年10月13日発表)
国内線マーケットシェア:51%(RPKベース:平成28年7月～平成29年6月)

【ジェットスター・ジャパンについて】

「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして掲げ、2012年7月より日本国内線を就航し、2015年2月からは国際線の運航も開始しました。現在、国内12都市・17路線、国際4都市・9路線を21機のエアバスA320型機(180人)で1日約100便を運航しており、国内線就航から2,200万人以上のお客様にご利用いただいています。ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリー株式会社が出資しています。<http://www.jetstar.com>